

平成 30 年第 2 回庄原市議会定例会

一般質問通告者  
及び  
質問事項

6月25日～6月27日

質問順位

- |          |         |
|----------|---------|
| 1. 近藤久子  | 2. 横路政之 |
| 3. 田部道男  | 4. 吉方明美 |
| 5. 谷口隆明  | 6. 徳永泰臣 |
| 7. 宇江田豊彦 | 8. 政野太  |
| 9. 赤木忠徳  | 10. 五島誠 |
| 11. 福山権二 |         |

庄原市議会

# 平成30年6月定例会 一般質問

順位	質問議員	質問項目	ページ
1	近藤 久子	庄原市民会館の今後のあり方について	1
		セクシュアル・ハラスメント対策の強化について	2
2	横路 政之	介護予防について	4
		いじめ対策について	5
		学校での心肺蘇生教育の普及及び突然死ゼロを目指した危機管理体制の整備について	6
3	田部 道男	過疎対策の現状と今後の取り組みについて	7
4	吉方 明美	自治振興センターのトイレの環境改善について	9
		保育所での紙おむつの処分について	10
5	谷口 隆明	身の丈に合ったごみ焼却場の建設を	12
		森林経営管理法への対応について	13
		教育条件の整備について	13
		学校施設の防災機能の強化、充実について	14
6	徳永 泰臣	本市の施設を活用した健康づくりの取り組みについて	15
		本市の生活交通について	16
7	宇江田 豊彦	地籍調査事業の推進について	17
		減額修正した国際平和友好交流調査経費の活用について	17
		保育所職員の確保と保育実施状況について	18
8	政野 太	オール庄原による人口減少対策について	19
		広報・広聴事業について	19
		本市の観光振興について	20
9	赤木 忠徳	市民が豊かな情報を得るために	21
		西城紫水高校の全国生徒募集への支援策について	21
10	五島 誠	介護予防につながる健康づくりについて	22
		庄原市役所の労働力の確保について	22
		映画ロケ地の誘致について	23
11	福山 権二	ため池の管理について	24
		有害鳥獣対策について	24

## 一般質問日程

6月 25日（月）近藤久子・横路政之・田部道男・吉方明美

6月 26日（火）谷口隆明・徳永泰臣・宇江田豊彦・政野太

6月 27日（水）赤木忠徳・五島誠・福山権二

順位	1	質問者	近藤 久子
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 庄原市民会館 の今後のあり 方について	<p>庄原市全域の市民 2,000 人と、市内高校生 282 人を対象としたアンケート調査の結果が公表された。それに基づいて、以下の項目について伺う。</p> <p>(1) アンケート調査の結果からは、新たな場所への建て替えは考えにくい。意見が多かった改修については、今後どのようなスケジュールによって、その内容が決定されるのか伺う。</p> <p>(2) 改修工事により、何年後の利用まで考えられるのか伺う。</p> <p>(3) 利用回数の多い団体へは事前アンケートの実施や意見聴取をされている。市として、出された意見以外に改修箇所の気づきはあるのか伺う。</p> <p>(4) 府中市文化センターにおける視察の成果について伺う。</p> <p>(5) 庄原自治振興センター整備についての方針決定は、いつ頃を目途にされているのか伺う。</p> <p>(6) 今回は、庄原市民会館に関するアンケート調査であったが、今後、検討委員会として将来の市街地における機能強化や公共施設の最適な配置等について、どのようなスケジュールで臨まれるのか伺う。</p>		市 長 教育長

順位	1	質問者	近藤 久子	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
2. セクシュアル・ハラスメント対策の強化について	<p>政府の男女共同参画会議が、女性活躍のために重点的に取り組むべき事項を5月23日にまとめた。その中に「セクシュアル・ハラスメントの根絶に向けた対策の推進」が盛り込まれ、「地方公共団体において、その実状に合わせ必要な措置を講じるよう要請すべき」とある。本市における今後の取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 改正男女雇用機会均等法では、セクハラ防止措置をとる義務を事業主に課している。相談窓口が機能しているのかなど、市内の事業所の取り組み状況の把握が必要ではないか。</p> <hr/> <p>(2) 首相が本部長となっている「すべての女性が輝く社会づくり本部」は、緊急に各府省の幹部職員にセクハラ防止研修の受講を義務化することを今月決定するとしている。本市においても、これまで実施された事業者向けの研修内容の検討と、対象を広げ確実な変革のための取り組みが必要ではないか。</p>			市長 教育長

順位	1	質問者	近藤 久子	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
2. セクシュアル・ハラスメント対策の強化について	<p>(3) これまで表に出なかった実態が明らかになるたびに、報道される内容がごく身近で起こっていることの確信が持てる。本市の実情を知るため、市内事業所の従業員を対象としたセクハラに関するアンケート調査の実施が必要ではないか。</p> <hr/> <p>(4) 教育委員会及び各学校に設置された「学校における体罰及びハラスメント相談窓口」について、児童・生徒及び関係者からの近年の相談件数と、相談を受けた場合の加害者及び相談者への対応について伺う。</p>		市長 教育長	

順位	2	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 介護予防について	<p>公明党は4月から6月までの3か月間、「100万人訪問・調査」運動を行っている。全国3,000名の議員が100万人の方に直接お会いして、介護、子育て、中小企業、防災・減災について意見を聞き、対話する中で、いろいろな課題も見えてきた。</p> <p>介護認定を受けていない方に関して、必要性は感じているが介護予防に取り組んでない人が非常に多いこと、また、自身の介護保険料や自己負担額を正確に把握されていない方や介護保険料が高すぎると思われている方が、ほとんどであった。</p> <p>(1) 介護保険料や自己負担額を周知する仕組みづくりが必要ではないか。</p> <p>-----</p> <p>(2) さまざまな介護予防サービスが提供されている中で、介護予防促進のために、介護予防に取り組めばポイントが付与され、介護保険料の軽減に利用できる仕組み作りも必要ではないか。</p> <p>-----</p> <p>(3) 地域包括ケアシステムについて、知らないと答えた方が9割以上であった。周知の方法を、再度、検討すべきではないか。</p>		市長

順位	2	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. いじめ対策について	<p>いじめは時代とともに変化してきている。スマートフォンなどを使ったネットいじめなど、わかりづらいいじめ問題も発生している。</p> <p>いじめ問題は時代に合わせた対応が必要であると考え。このようなことに対応するため、いじめ対策アプリを導入して効果をあげている千葉県柏市などの自治体もある。</p> <p>いじめを周りで見ても、教員や親に相談しないケースやいじめを受けた児童生徒も誰にも相談しないなど、このアプリはこうした児童生徒に対するセーフティネットの役割も果たしている。</p> <p>本市の取り組みや導入について、教育長の考えを伺う。</p>		教育長

順位	2	質問者	横路 政之	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
<p>3. 学校での心肺蘇生教育の普及及び突然死ゼロを目指した危機管理体制の整備について</p>	<p>突然の心配停止から命を救うためには、心肺蘇生・AEDの知識と技能を体系的に普及する必要がある、学校での心肺蘇生教育はその柱となるものである。</p> <p>本市においても、児童生徒、教職員に対する心肺蘇生とAEDに関する教育を普及及び推進するとともに、学校での危機管理体制を充実し、児童生徒の命を守るための安全な学校環境を構築することは喫緊の課題だと考える。</p> <p>(1) 学校におけるAEDの設置状況について伺う。</p> <hr/> <p>(2) 教職員及び児童生徒のAED講習の実施状況について伺う。</p> <hr/> <p>(3) 本市の小中学校における児童生徒への心肺蘇生教育の現状と今後の方向性について教育長の考えを伺う。</p>		<p>教育長</p>	

順位	3	質問者	田部 道男
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 過疎対策の現状と今後の取り組みについて	<p>(1) 現行の過疎地域自立促進特別措置法は、平成32年度をもって期限切れとなるが、本市の過疎対策の現状と課題をどのように認識され、それを踏まえた時限立法の継続と本市ならではの新たな過疎対策について、国・県に対し、どのように要望・提言をしていく考えなのか、所見を伺う。</p> <hr/> <p>(2) 本市は全国で13位、近畿以西では1位という市域を抱え、広大な山林や農地を有しているが、高齢化が進む本市の特に重要な課題は、農林業の振興と高齢者の暮らしの安全安心を保障することと考える。</p> <p>平成33年度以降も過疎法による国の支援継続を要望するとともに、本市から国・県に対し、新たな施策として、農業では、「和牛放牧などを取り入れた畜産の振興と美しい田園景観づくりで一番を目指す対策」、林業では、「山林資源活用のため境界明確化の飛躍的進捗を図り木材資源を活用できる対策」、高齢者の安全・安心保障では、「豪雪地での居住、買い物、通院・施設通所など快適な生活を実現する対策」を柱に施策要望をすべきと考えるが、所見を伺う。</p>		市長

順位	3	質問者	田部 道男
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 過疎対策の現状と今後の取り組みについて	<p>(3) 国は、集落の存続対策として「小さな拠点・集落ネットワーク圏の整備」を考慮しており、地域運営組織の育成・強化も求めているが、本市では、自治振興区が整備され活動も定着してきている。</p> <p>したがって、本市の自治振興区の組織強化策として、各自治振興区が組織運営の基礎を強化することや地域づくりのため、過疎債を利用して基金を造成できるような施策を市として取り組むべきと考えるが、所見を伺う。</p>		市長
	<p>(4) 過疎対策に定住対策は不可欠であり、定住促進住宅の整備が求められている。過疎債での対応も含め、早急に整備を進めるべきだと考えるが、所見を伺う。</p>		

順位	4	質問者	吉方 明美
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 自治振興センターのトイレの環境改善について	<p>生活習慣の中で、男女ともに気が付かないことが多くある。そのひとつに、男女共用のトイレが公共施設の中にいまだに存在しているということがある。</p> <p>市役所別館のトイレのことについても、以前に質問してきたところであるが、その他に地域の自治振興センターのトイレの多くが「男女共用」の構造で、特に女性は利用しにくい状況である。そこで、次のとおり伺う。</p> <p>(1) 市内の自治振興センターで「男女共用」と呼ばれるトイレは、何カ所あるのか。</p> <p>(2) 男女共用のトイレについて、利用者から不便との声はないのか。</p> <p>(3) 特に自治振興センターは地域の拠点であり、男女がお互いの人権を尊重し地域を守ろうという活動を進める大切な場所である。人権という視点からして、この状態をどのように捉えているのか。</p> <p>(4) 施設によっては、男女別々のところもあるが、男女共用としているところについては、早急に改善する必要があるのではないか。</p>		市長

順位	4	質問者	吉方 明美
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 保育所での紙おむつの処分について	<p>子育てをする上で、家庭における保護者の負担は多いが、それぞれの親は覚悟をして子育てをしている。市長は、その負担を少しでも軽減しようと、子育て支援施策を打ち出されているが、私も同感であり、子育てに負担感が少なく、喜びを持ってしてもらいたいと望むものである。</p> <p>さて、乳幼児期における紙おむつの処理問題について、以前、一般質問で「3歳までの子どもがいる家庭に対して紙おむつ処理用のゴミ袋を支給」することを提案してきたが、残念ながら、その約束は果たされなかった。</p> <p>現在、保育所で乳幼児の使用済み紙おむつは、保護者へ持ち帰ってもらっている。この慣習は、かつて「布おむつ」の時代の名残だと思われるが、子育て支援の一環として、保育所で使用した紙おむつを保育所で処分することについて、次のとおり伺う。</p> <p>(1) 使用済み紙おむつを持ち帰りとしている根拠は何か。</p> <p>.....</p> <p>(2) 厚生労働省及び保健所の見解はどうか。</p> <p>.....</p> <p>(3) 保育所での現在の保管状況と衛生上の問題はないのか伺う。</p>		市長

順位	4	質問者	吉方 明美
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 保育所での紙 おむつの処分 について	(4) 保育所で処分することで、保育士の負担はどの程度かかるのか。		市長
	(5) 保育所で処分した場合、経費はどのくらいかかるのか。		
	(6) 保育所で使用した紙おむつは、保育所で処分し、保護者の負担を軽減する必要があると思うがいかがか。		

順位	5	質問者	谷口 隆明	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 身の丈に合ったごみ焼却場の建設を	<p>(1) 市の環境基本計画にあるように、ごみ処理は「3R」(リデュース、リユース、リサイクル)を強化する方向、ごみの減量、資源化の方向に向かっている。今回、一般廃棄物施設処理整備基本計画に示された焼却施設は、処理能力が日量34トン、うち災害廃棄物も日量4トンで、施設規模が過大であると考ええる。</p> <p>環境問題や市の財政問題を考えて、住民の協力によるごみの減量を最優先し、実際のごみ処理量に応じた最低限の施設規模で、身の丈に合った施設建設を追求すべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>-----</p> <p>(2) 住民の協力によるごみ分別の推進で、リサイクルプラザの運営も見直すべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>-----</p> <p>(3) 事業系のごみのほとんどは、分別することで資源化できると考える。事業系のごみの実態を正確に把握し、資源化を追求することで、燃やすごみを大幅に減らすべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>-----</p> <p>(4) 東城クリーンセンターに置かれるごみの直接搬入に対応するストックヤードは、今後、どのように運営していく考えなのか、見解を伺う。</p>		市長	

順位	5	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 森林経営管理法への対応について	<p>(1) 森林経営管理法が成立し、来年4月から施行される。森林所有者の権利侵害や、乱伐を招き森林を荒廃させかねないなどの重大な問題があると言われていたが、市長はどう捉えておられるのか伺う。</p> <p>(2) 新しい森林管理システムを運営する市町村に過大な負担が押し付けられるとの批判もあるが、本市では、推進体制や専門家の育成等、どのように対応する考えなのか伺う。</p>		市長
3. 教育条件の整備について	<p>(1) 非常勤講師の確保が、大きな問題になっているが、義務教育を進める教員の確保は、教育委員会の最優先の課題である。国や県の責任で、教員の安定的な配置を行うべきであると考えているが、現状と課題について、教育長の認識を伺う。</p> <p>(2) 教育長は、新しい教科である英語は指導できる人がいないので、できるだけ早く複式を解消したいと言っておられるが、本末転倒ではないかと思う。英語や道徳を教科化する国の新しい学習指導要領の方針そのものが問題であるが、小規模校の再編統合や保護者の協力で乗り切れるような問題ではなく、長期的視野に立って指導者の確保など、教育条件の整備に取り組むべきではないかと思うが、教育長の見解を伺う。</p>		教育長

順位	5	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
4. 学校施設の防災機能の強化、充実について	<p>最近の大規模災害の教訓から、避難所となる公立学校施設の防災機能の強化、充実が求められている。</p> <p>国は優先順位をつけて整備するよう求めているが、本市の現状と今後の取り組み方針について伺う。</p>		市長 教育長

順位	6	質問者	徳永 泰臣
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 本市の施設を活用した健康づくりの取り組みについて	<p>近年、本市の少子高齢化は、一層急速に進行しており、将来にわたって地域社会を維持していくためには、高齢者が健康でいきいきと暮らすことができることと同時に、子どもや子育て世代を含む全世代が、心身ともに健やかに生活できることが求められている。</p> <p>生活習慣病に罹る割合は高い状況にあるが、医療費の増加等、健康を取り巻く環境の変化とともに、住民の健康と運動に対する意識も高まっている。</p> <p>本市においては、健康増進のために社会体育施設や健康増進施設の整備がなされているが、これらの利用状況をみると、十分に地域住民が活用しているとはいえない状況である。</p> <p>今日の住民ニーズに合った利用形態の検討やインストラクターの配置等、ソフト面を充実させることで、真に地域住民の健康増進に寄与する施設としていくことが重要と考えるが、次のとおり、市としての見解を伺う。</p> <p>(1) 社会体育施設を活用した現在の健康づくりの取り組みについて伺う。</p> <p>-----</p> <p>(2) 健康増進施設を活用した現在の健康づくりの取り組みについて伺う。</p>		市長 教育長

順位	6	質問者	徳永 泰臣
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 本市の施設を活用した健康づくりの取り組みについて	(3) 施設を活用した健康づくりにおいて、特にソフト面とハードの面との連携と課題について伺う。		市長 教育長
	(4) 施設を活用した今後の本市の健康づくりの方向性について伺う。		
2. 本市の生活交通について	平成28年度から5年間の計画期間とした、第2期庄原市生活交通ネットワーク再編計画が策定された。		市長
	<p>しかしながら、生活交通は自ら移動手段を持たない市民が日常生活を営むために必要不可欠なものであり、高齢化が進む本市においては、今後も重要な課題で、将来にわたって持続可能な生活交通を確保する必要がある。</p> <p>現在、本当に市民の生活に必要な生活交通となっているのか、次のとおり、市としての見解を伺う。</p>		
	(1) 生活交通に対する市民ニーズについて伺う。		
	(2) まちづくりと連動した交通体系の確保、特に、JR路線の維持・確保について伺う。		
(3) 生活交通ネットワーク再編の具体化に向けた、今後の取り組みについて伺う。			

順位	7	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 地籍調査事業の推進について	<p>各種公共事業の効率的実施や経済活動の促進を図る上で、地籍調査事業は重要かつ早期完了すべき課題と思われる。</p> <p>本市においても、旧庄原市で1965年（昭和40年）頃から取り組みを進めているものの、調査面積も広大で実施率も、約14%にとどまっているが、重大な課題であり、より積極的な取り組みが必要である。</p> <p>しかし、莫大な予算が見込まれ容易には前進できない状況にもあるが、今後の具体的な方針について伺う。</p>		市長
2. 減額修正した国際平和友好交流調査経費の活用について	<p>本年度、一般会計予算案において、ジャイアントパンダを通じた平和友好交流を行い、本市に新たなにぎわいを創出しようと「国際平和友好交流調査費」199万7千円が計上されたが、これに対し議会は3月定例会において減額修正を行い、73万1千円の予算を認めることとした。</p> <p>今後、どのように「国際平和友好交流調査費」は活用されるのか伺う。</p>		市長

順位	7	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 保育所職員の確保と保育実施状況について	<p>(1) 昨今、様々な職種・職場において人手不足が発生しており、とりわけ保育士等を確保することが困難な状況であると聞く。</p> <p>本市においては、公営、民営保育所で職員の確保が十分にできているのか、また、保育実施にあたり、人員不足による弊害が発生するような実態はないのか伺う。</p> <hr/> <p>(2) 今後、保育所職員の保育力向上をめざし、総合的な研修が必要であると思われるが、拠点的保育所の必要性について、市長の所見を伺う。</p>		市長

順位	8	質問者	政野 太
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. オール庄原による人口減少対策について	<p>(1) 本市の定住施策を展開するにあたり、「子育て支援施策」、「農業振興施策」、「商工業支援施策」など、オール庄原で、その他の施策とも連携した総合的な展開が重要である。しかし、さらなる定住施策の成果向上には、「教育施策」の充実に向けた教育予算の拡充や「教育施策」との連携、展開が必要であると認識しているが、市長の見解を伺う。</p> <hr/> <p>(2) 第2期長期総合計画に掲げられた、2025年時点での本市の人口32,700人以上という目標を達成するためには、現在、本市に住む中高生への支援、PR、社会参加への取り組みも効果的であると考えるが、市長及び教育長の見解を伺う。</p>		市長 教育長
2. 広報・広聴事業について	<p>(1) 平成26年度より、毎年開催をされている「庄原いちばん談議」について、これまでの成果と課題、今年度の開催状況及び今後の方向性について、市長の見解を伺う。</p> <hr/> <p>(2) 本市の施策展開にあたり、市長の思い、考えを広く市民に周知する必要があると考えるが、広報事業の今後の方向性について、市長の見解を伺う。</p>		市長

順位	8	質問者	政野 太
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 本市の観光振興について	<p>本年度より、行政組織の改正により、観光振興課が一課一係で設置されたが、それが本市の観光に対して、どのような効果を目指しているのか、市長の見解を伺う。</p>		市長

順位	9	質問者	赤木 忠徳	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1. 市民が豊かな 情報を得るた めに	<p>光ファイバー網が全域に完備されようとしている。元々、庄原市、東城町、西城町の中心市街地等にのみに設置する計画を市議会が猛反発して全域整備となったので、その活用にも注目していきたい。</p> <p>(1) 現在の整備状況と告知放送端末機の普及率について伺う。</p> <p>-----</p> <p>(2) 告知放送の聴取率はどうか。また、多くの市民に視聴していただくための計画、方法について伺う。</p> <p>-----</p> <p>(3) 光ファイバー網を利活用して情報豊かな庄原市にするための計画について伺う。</p> <p>-----</p> <p>(4) 無料公衆無線LAN設置状況と使用方法及び告知について伺う。</p> <p>-----</p> <p>(5) 携帯電話不感地域解消の進捗状況について伺う。</p>			市長		
2. 西城紫水高校 の全国生徒募 集への支援策 について	<p>広島県立西城紫水高等学校は、すでに2年生が名古屋から入学しているが、来年度から本格的に全国から生徒の募集を開始する。今後も少子化によって大半の学校が休校や統合等の問題に直面すると考える。本市では、存続支援を要する県立高校に対して3年間100万円、今年度からは85万円の補助をしており、賞賛に値する。今後、西城紫水高校の全国生徒募集について、県立高校なので全て県に任せるとするのか、それとも新たな支援の検討等、積極的に関わりを持とうとしているのか伺う。</p>			市長 教育長		

順位	10	質問者	五島 誠
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 介護予防につながる健康づくりについて	<p>介護予防・健康づくりの取り組みは、本市の地域包括ケアシステム構築を進めていくためにも、最も大切であると考えます。現在、本市の介護保険料の基準額は 6,720 円と県内でもトップであり、広島県の健康寿命も厚生労働省発表によると女性は全国最下位です。今後、国民健康保険税の市民負担を抑制するためにも、医療費を抑制する施策は急務と考えますが、以下について、市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 本市の介護予防・健康づくりの取り組みの現状について伺う。</p> <p>(2) 医療費抑制のための介護予防・健康づくりにおける課題について伺う。</p> <p>(3) 今後、地域包括ケアシステムを構築し、介護予防・健康づくりを進めていくための取り組み方針、将来展望について伺う。</p>		市長
2. 庄原市役所の労働力の確保について	<p>本市の労働力の減少は大きな課題であり、市役所も例外ではない。本市では、合併後、定員適正化計画などにより職員数も計画的に減らす一方で、人口減少に関する課題解決など行政需要は逆に高まっている。</p> <p>また、市内の労働人口の減少等により人材の確保が困難な状況の中で、市職員についても、この人材難にどう向き合うかは喫緊の課題であると言えるが、以下について伺う。</p>		市長

順位	10	質問者	五島 誠
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 庄原市役所の 労働力の確保 について	(1) 離職予防につながるような人事評価制度の運用について、市長の所見を伺う。		市 長
	(2) 業務あたりの延べ労働時間を短縮するために業務プロセスの見える化及び改善整理が必要であるが、市長の所見を伺う。		
	(3) 新しい労働力の導入で、AIやRPAなどの活用について、市長の所見を伺う。		
	(4) これからの労働力確保に向けた総合的な取り組み方針、将来展望について、市長の所見を伺う。		
3. 映画ロケ地の 誘致について	<p>本年5月に公開された映画「虎狼の血」の続編製作が発表されていたが、その原作のモデルとして本市と思しき地名が登場する。</p> <p>この機会を捉え、ロケ地誘致など進めてみてはいかがかと考えるが、所見を伺う。</p>		市 長

順位	11	質問者	福山 権二	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. ため池の管理 について	<p>ため池は、中四国に多く、広島県内には約2万カ所、庄原市内には1,800カ所を超えている。農業振興や危機管理対策で、ため池は不可欠の資源であるが、その管理状況について、次のとおり伺う。</p> <p>(1) 市内のため池の数量と管理はどのように実施されているのか。</p> <p>-----</p> <p>(2) ため池の有用性について、農業振興と危機管理の点で、どのように活用しているのか。</p> <p>-----</p> <p>(3) 老朽ため池の改修は、どのように実施されているのか。</p>		市長	
2. 有害鳥獣対策 について	<p>(1) 本年1月に竣工し、供用開始された有害鳥獣処理施設は、現在、どのような運営状況になっているのか伺う。</p> <p>-----</p> <p>(2) これまでに有害鳥獣処理施設に持ち込まれた頭数と処理状況、今後の捕獲推進に対する取り組み方針について伺う。</p>		市長	

